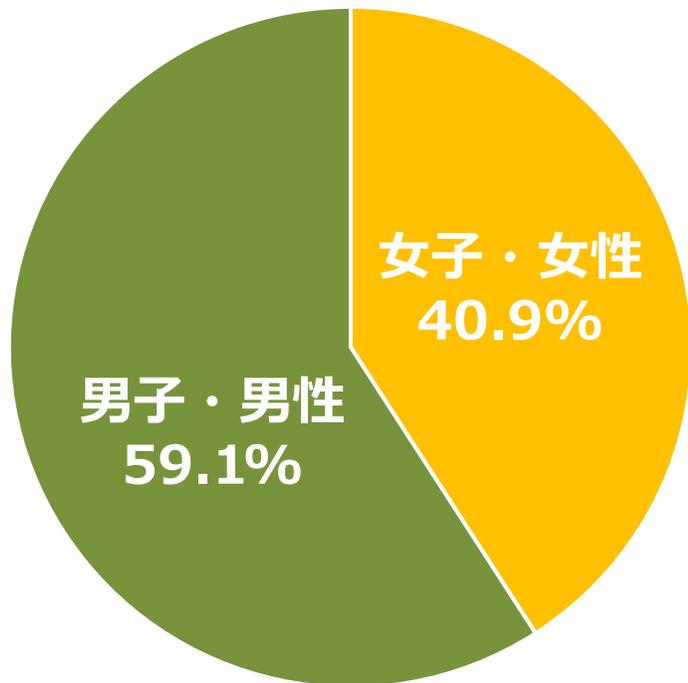
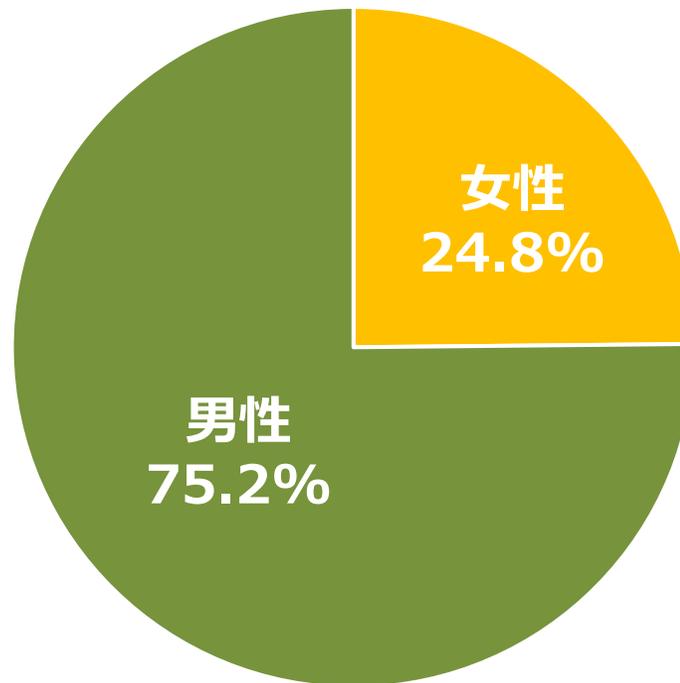


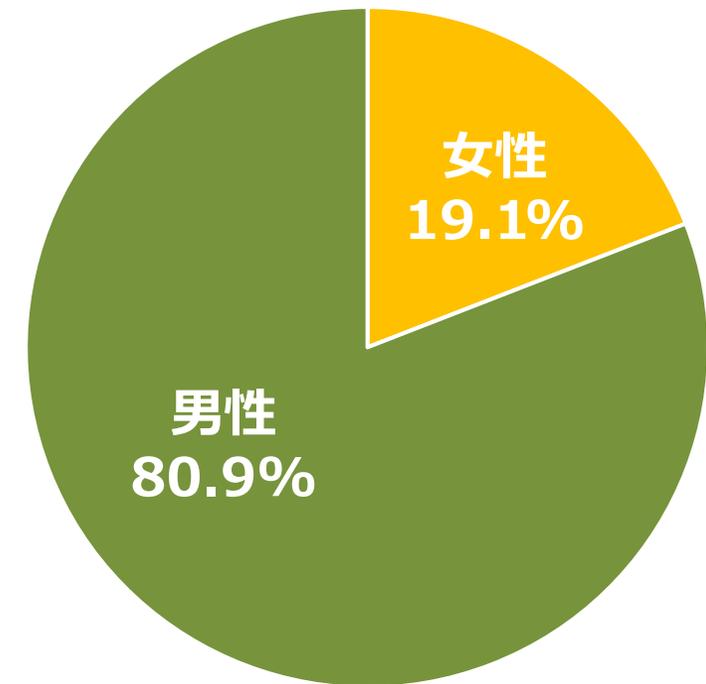
**2022年度
JBA
女性コーチに関する実態調査**



競技者登録数
男女割合



コーチ登録数
男女割合



審判登録数
男女割合

- ・回答者のうち、80.7%が「現在コーチ活動をしている」と回答した。一方、「以前コーチ活動をしていたが、現在はしていない」と回答した対象者は12.2%、「これまでも、現在もコーチ活動をしたことがない」と回答した対象者は7.0%であった。
- ・「現在コーチ活動をしている」と回答した対象者にとって、コーチ活動をする上で**勤務形態・仕事との両立、家事との両立、講習会・研修会への参加機会をつくること**が課題であった
- ・「以前コーチ活動をしていたが、現在はしていない」と回答した対象者にとって、コーチ活動を辞めてしまった理由として**コーチする場がなくなった、勤務形態・仕事との両立、妊娠・出産・育児や家事との両立**が挙げられた
- ・「これまでも、現在もコーチ活動をしたことがない」と回答した対象者にとって、コーチ活動をしていない理由として**指導に自信がない、勤務形態・仕事との両立、指導する場所がない**という回答が多かった
- ・現在コーチ活動をしていない人のうち、**48.4%がコーチ活動の再開・開始を希望**しており、研修会や講習会を通じて知識・技術を向上させることや、コーチを探しているチームとのマッチング等が必要であると考えられる

目的

JBAでは女性コーチの育成・支援を進めており、女性コーチが活動しやすい環境づくりを目指している。本調査では、女性コーチの環境、指導現場の現状や、直面する課題の把握を目的とし、実施された。

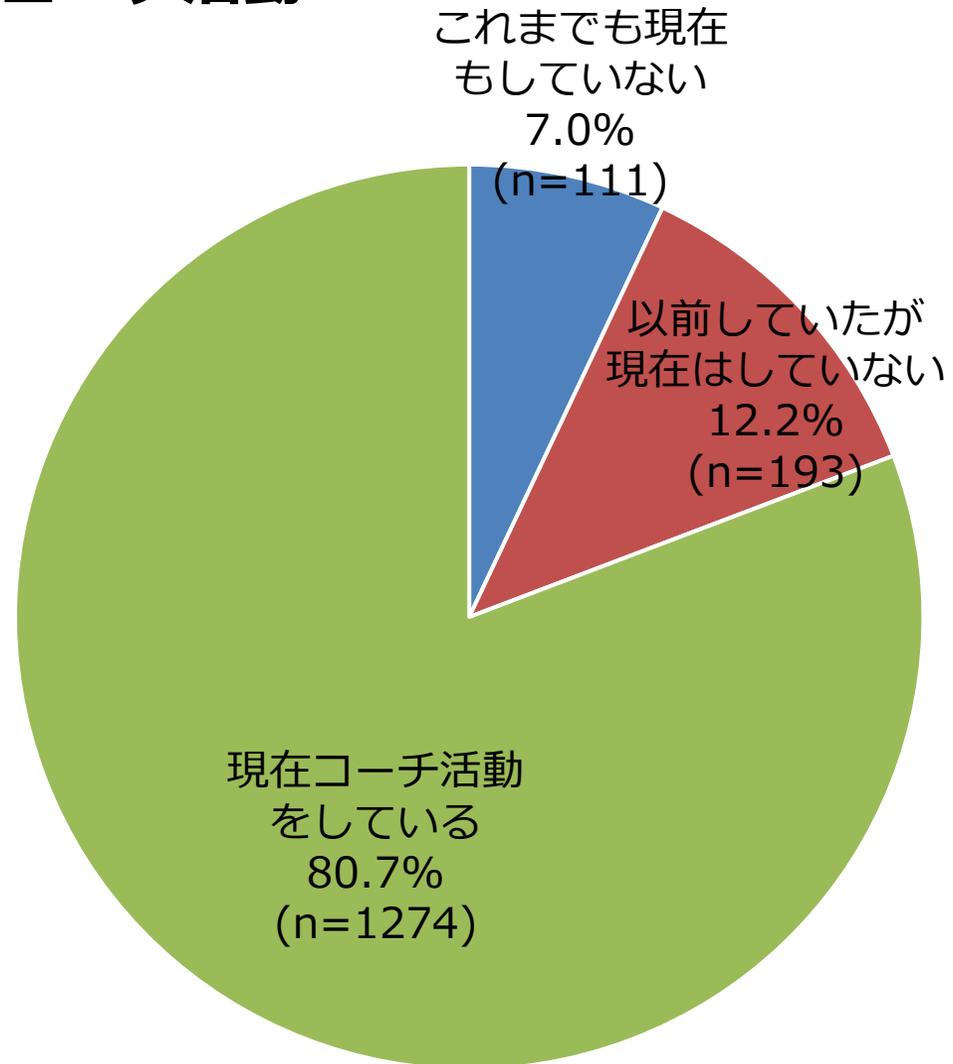
データ収集方法

- ・ JBAコーチライセンス保持者のうち女性（18,199人）のメールアドレスに、本アンケート（google form）のURLを一斉送信し、回答を求めた。
- ・ 回答数は1,578件（回答率：8.7%）

アンケート実施期間

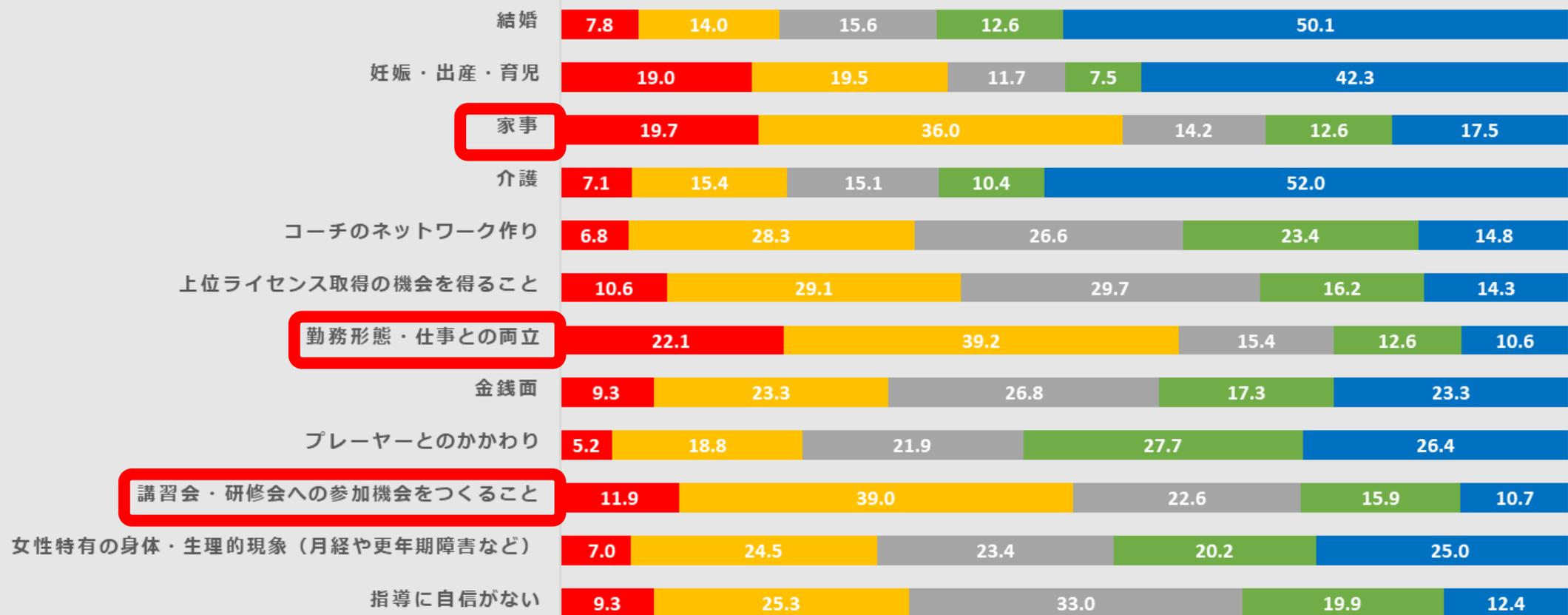
- ・ 2022年8月3日～2022年8月21日

過去または現在のコーチ活動



現在、コーチ活動をしている中で直面している困難や課題について、
以下の項目がどの程度あてはまるか

■ 5：とてもあてはまる ■ 4：ややあてはまる ■ 3：どちらでもない ■ 2：あまりあてはまらない ■ 1：全くあてはまらない



コーチをする上で困難なこと（記述）

勤務形態・仕事との両立

- ・仕事の調整や心身の疲労の蓄積から、指導が行き届かないことが多い
- ・勤務労働時間オーバー
- ・仕事の都合上、週に1回しか指導に行けず、信頼関係を築くことが困難

家事

- ・平日は仕事の後に練習。週末は試合や練習で家事をする時間がない。子どもの習い事の送迎や試合観戦が難しい。
- ・コーチを引き受けた以上練習も可能な限り参加したいと考えるが、家事育児もあるのでどちらかが蔑ろになりつつある

講習会・研修への参加機会をつくること

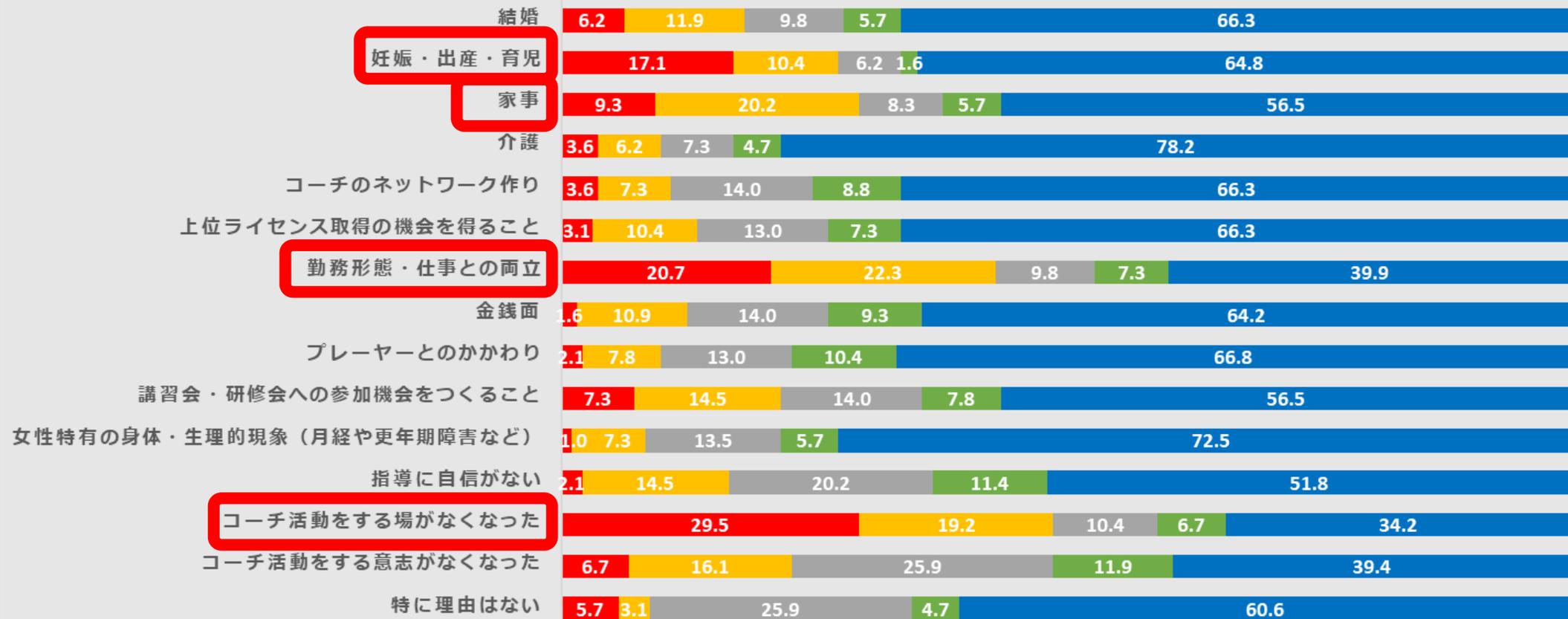
- ・土日は試合が多く、講習会に参加する機会をつくれな
- ・講習会等の際、子どもを預けることが大変
- ・コーチ講習会と審判講習会が重なっていることが多く、コーチ講習会に参加できない

その他

- ・保護者や他のコーチとの関係に悩んでいる
- ・プライベートの時間が取れない
- ・指導現場にはまだまだ男尊女卑の雰囲気がある
- ・男子プレイヤーを教える際に困難がある

コーチ活動を辞めてしまった理由として、以下の項目がどの程度当てはまるか

■ 5 : とてもあてはまる ■ 4 : ややあてはまる ■ 3 : どちらでもない ■ 2 : あまりあてはまらない ■ 1 : 全くあてはまらない



コーチを辞めてしまった理由（記述）

コーチする場がなくなった

- ・ヘッドコーチの意向でアシスタントコーチが不要になり、活動する場がなくなった
- ・団員が減り、女子の試合参加ができなくなった
- ・監督との意見不一致

勤務形態・仕事との両立

- ・バスケ部がない学校に赴任したため
- ・部活動の地域移行化に伴い、指導の機会がなくなった
- ・仕事と子育ての両立で精一杯で、部活動まで指導する余裕がない

妊娠・出産・育児・家事

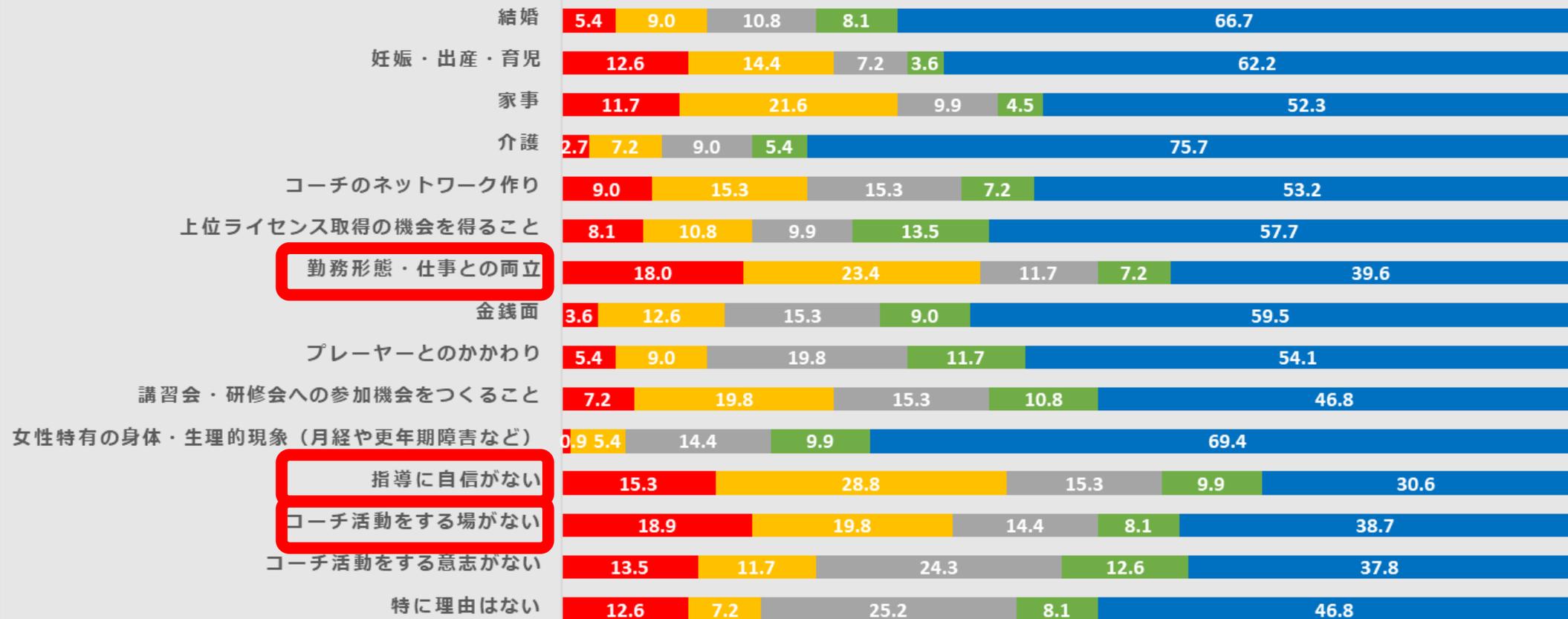
- ・結婚・出産により生活が変わった
- ・ワンオペなので研修会に参加できず、資格の更新が難しい
- ・家族の理解と協力を得ることが難しい
- ・子どもを連れて体育館に行けない、周りの目が気になる

その他

- ・保護者との関係がうまくいかなかった
- ・女性コーチや若いコーチが少なく、ネットワークを築くことができない、男性コーチの輪に入りづらい
- ・コロナによる影響

現在コーチ活動をしていない理由として、以下の項目が どの程度当てはまるか

■ 5：とてもあてはまる ■ 4：ややあてはまる ■ 3：どちらでもない ■ 2：あまりあてはまらない ■ 1：全くあてはまらない



コーチをしていない理由（記述）

コーチする場がない

- ・ コーチをする場所がなく、つくろうとしても家事や仕事、育児と両立することが難しい
- ・ 高校教員だが、初任校にバスケの先生がすでにいたためバレー部となり、抜け出せない
- ・ 機会づくりが難しい

勤務形態・仕事との両立

- ・ 担任、教科、校務分掌の仕事が多忙で、部活動指導に時間を割けない
- ・ 指導と仕事、家事を天秤にかけた時に、指導を優先する人は少ない

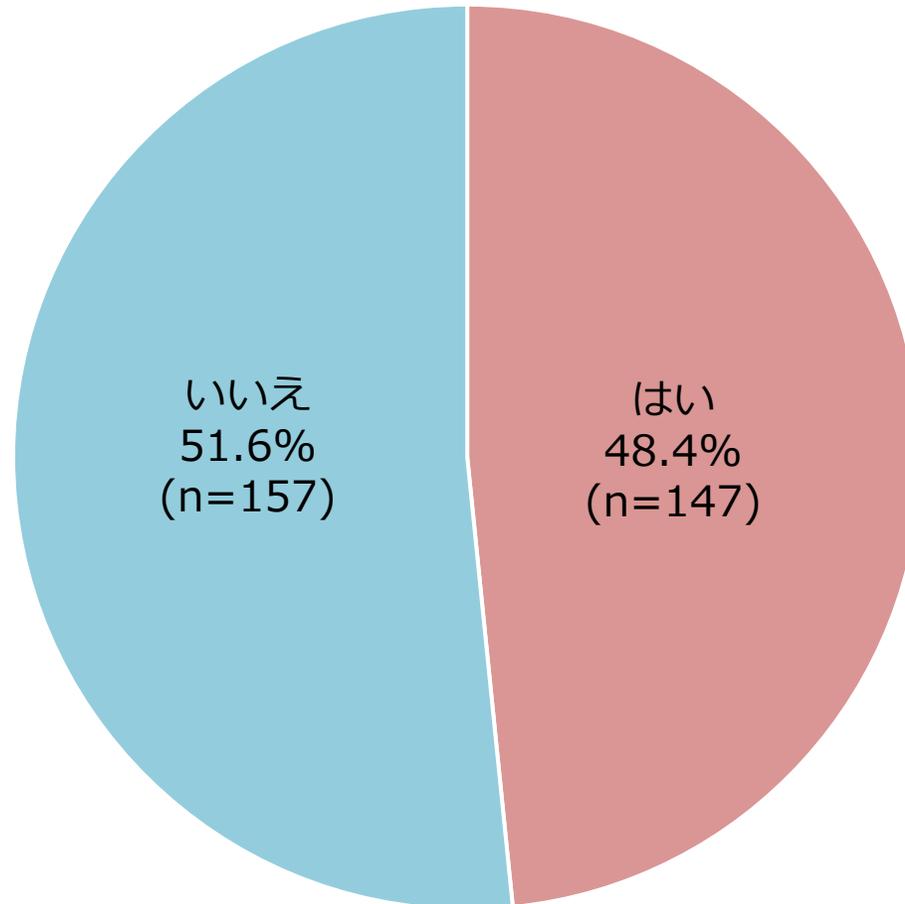
指導に自信がない

- ・ バスケを学ぶ時間、機会が取れない
- ・ 知識や技術がなく、自信がない
- ・ コーチをやらないかとお誘いを受けたが、子どもたちへの伝え方など自信が持てず、引き受けることができなかった

その他

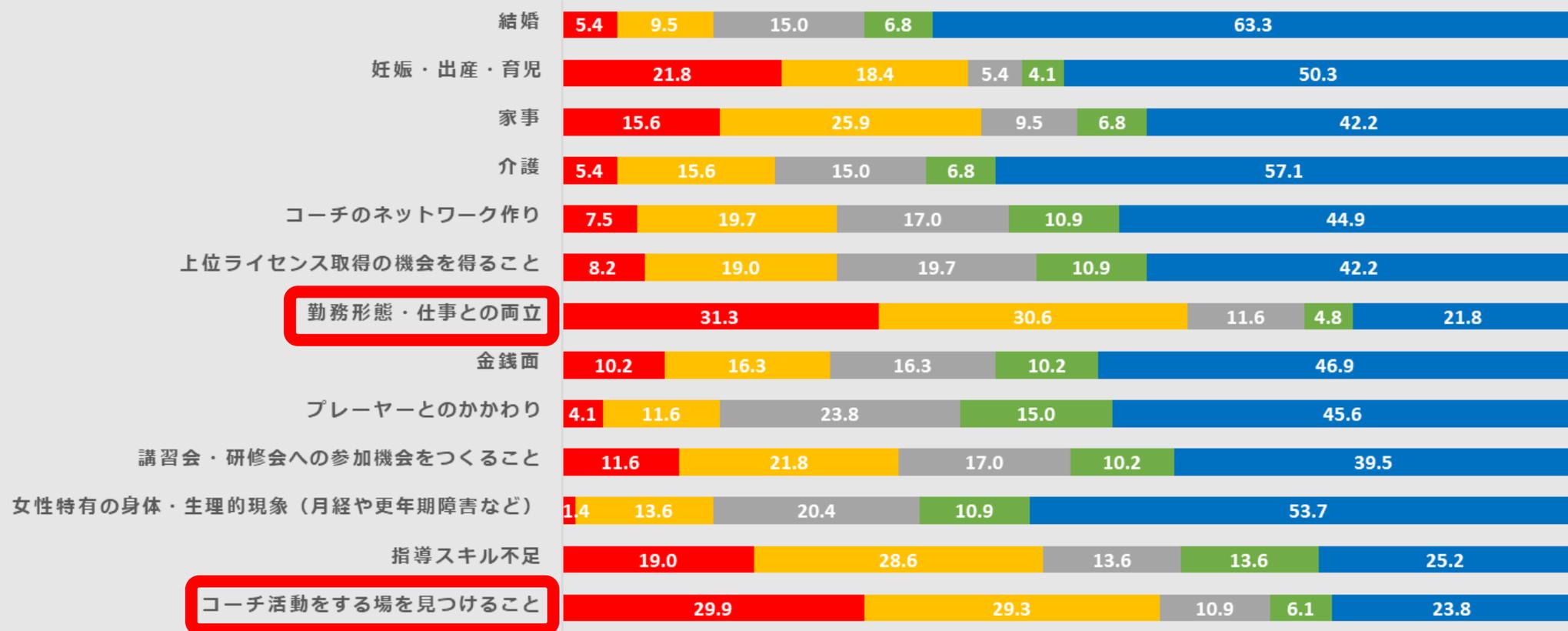
- ・ チーム内でライセンス保有者がいなかったためのライセンス取得で、指導意欲がない
- ・ 結婚、出産を希望するため指導に踏み切れない
- ・ 女性がコーチしているところを想像できない

🏀 今後コーチ活動を始めるもしくは再開することを希望していますか？



コーチ活動を始めるもしくは再開する際の困難・課題として、 以下の項目がどの程度当てはまるか

■ 5 : とてもあてはまる ■ 4 : ややあてはまる ■ 3 : どちらでもない ■ 2 : あまりあてはまらない ■ 1 : 全くあてはまらない



コーチを活動を再開する上で困難なこと（その他）

- ・ チームを作るには、体育館の確保が大変
 - ・ 対象者に応じた指導ができるかどうか。自分自身の年齢的なことも心配
 - ・ 体力が落ちているので、帯同審判もできるかどうか
 - ・ コロナの収束
 - ・ 技術の面でスキルが衰えていることと、細かなルールを完璧に理解できていない
 - ・ 現在のバスケット指導における知識の不足
 - ・ 自身の健康
 - ・ 拘束時間が長い
 - ・ 地域移行への難しさ
- など…